



目的別 / 半日研修

Revised

不祥事防止の リスクマネジメント

コンプライアンスの本質について学ぶ

➤ 本研修の概要とねらい

- ① コンプライアンスに関する基礎知識を確認した上で、組織内不祥事が発生する仕組みを「不正のトライアングル理論」に基づいて理解する。
- ② 「生き生きした職場づくり」を通してどのようにコンプライアンスを浸透させていくかについて学ぶ。

➤ 主なコンテンツ

コンプライアンスを具体化する、職場のリスクマネジメントとコンプライアンス・リスク、職場管理とコンプライアンス浸透策、など（詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください）。

➤ 演習/実習の内容

職場の「コンプライアンス・リスク」事例演習……「リスクマネジメント」の観点に立ったコンプライアンス・リスク（職場内で不正・不祥事が発生するリスク）に対する事例演習をおこなう。

➤ 受講対象（推奨）

管理監督職、一般職員

➤ 講師からの一言

「職場全体で不祥事防止に向けて取り組むための実務的なヒントを多く盛り込んだ研修です。事例演習も多く、主体的に学んで頂ける内容になっています。」



一般社団法人 日本経営協会講師
森 健(もり たけし)

下田市役所に入庁し、静岡県防災局への出向も含め、約12年間行政において実務経験を積む。その後、自動車部品のグローバル・メーカーである住友電装株式会社においてリスク管理体制の再構築を課長職として完遂するなど、複数社でリスクマネジメント、コンプライアンス、内部統制及びBCPの責任者を経験し、2015年7月にリーガル・リスクマネジメント研究機構の代表理事就任と同時に独立、現在に至る。

リスク管理系（内部統制、防災・危機管理、危機管理広報、BCP）、法務系（コンプライアンス、情報公開・個人情報保護）、労務管理、ハラスメント、業務改善、などのテーマで企業・自治体に出講中。官民双方での実務経験を活かし、幅広い専門テーマで登壇している。

危機管理士2級、JKET指導者の資格を有する。

本講師の他の研修

- a. 内部統制
- b. コンプライアンス・公務員倫理
- c. BCP（業務継続計画）

不祥事防止のリスクマネジメント

半日研修タイムテーブル案

研修テーマ	主なコンテンツ
1. はじめに	☞ 導入講義(研修目的の理解)
2. コンプライアンスの基礎を再点検しよう! (1)コンプライアンスの本質 (2)コンプライアンスを具体化する (3)職場のリスクマネジメントとコンプライアンス・リスク (4)「不正のトライアングル理論」とは	☞ コンプライアンスが「法令遵守」では不十分な理由 ☞ 職場ごと・業務ごとに考える。 ☞ 職場内で不正・不祥事が発生するリスクについて考える。 ☞ 「不正のトライアングル理論」
3. 職場の「コンプライアンス・リスク」事例演習 (1)演習1:不祥事の前兆現象 (2)演習2:出入業者との距離感 (3)演習3:ハラスメント防止とコンプライアンス浸透	☞ 「職場内における不祥事」、「職場外の犯罪行為」、「ハラスメント予防と職場管理」、前兆現象を検知するための工夫、予防策の実践ポイント——チェックリストの活用
4. 職場管理とコンプライアンス浸透策 (1)職場のコミュニケーション①:朝礼・課内会議 (2)職場のコミュニケーション②:個別面談や人事評価 (3)職場のコミュニケーション③:OJTの積極活用	☞ 「職場管理」の観点から職場内のコミュニケーションをどのようにとるべきかについて再点検
5. まとめと質疑応答 (1)まとめ (2)質疑応答	☞ コンプライアンスの浸透に向けて全職員の「総力戦」で臨むことの重要性

■本研修を受講した研修生の感想

- ☞ コンプライアンス意識を浸透させる方法について悩んでいたのが、話が聴けて良かった。
- ☞ 問題発生の前兆現象を見逃さないことが大切だと分かりました。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

- ☞ 自治体・企業の双方において様々なリスク管理・危機管理の現場経験を積んでいる講師で、納得性の高い研修が可能です。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>